

## 配置図

所在地：北海道野付郡別海町尾岱沼  
港町179-2

敷地：15,800㎡

海側に漁業協同組合、道路を挟んで複合施設を配置し、2つの建物を繋ぐように大階段を設置。階段を登っていくと目の前に海が広がり、働く漁師の姿を見学することができる。

複合施設の屋根は、2つの三角形を合わせ、野付漁業伝統の打瀬船をモチーフにした。

### 漁業協同組合

主要用途：水産物荷捌施設、事務所、学習スペース

建築面積：2,617㎡

延床面積：5,213㎡

最高高さ：21m

階数：3階

構造：鉄筋コンクリート造

### 複合施設

主要用途：案内所、直売店、カフェ、貸しオフィス、多目的スペース

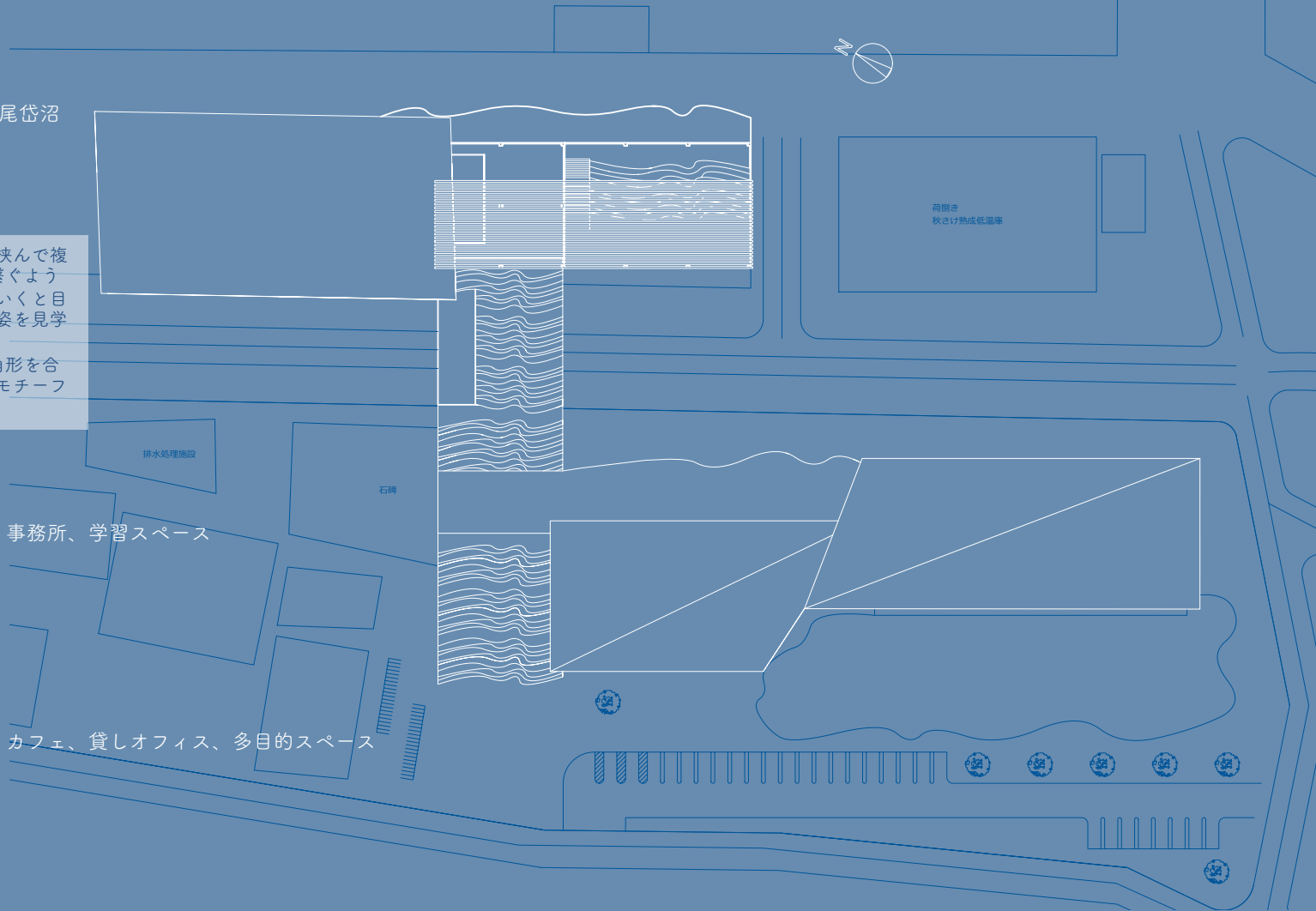
建築面積：2,405㎡

延床面積：3,668㎡

最高高さ：12m

階数：2階

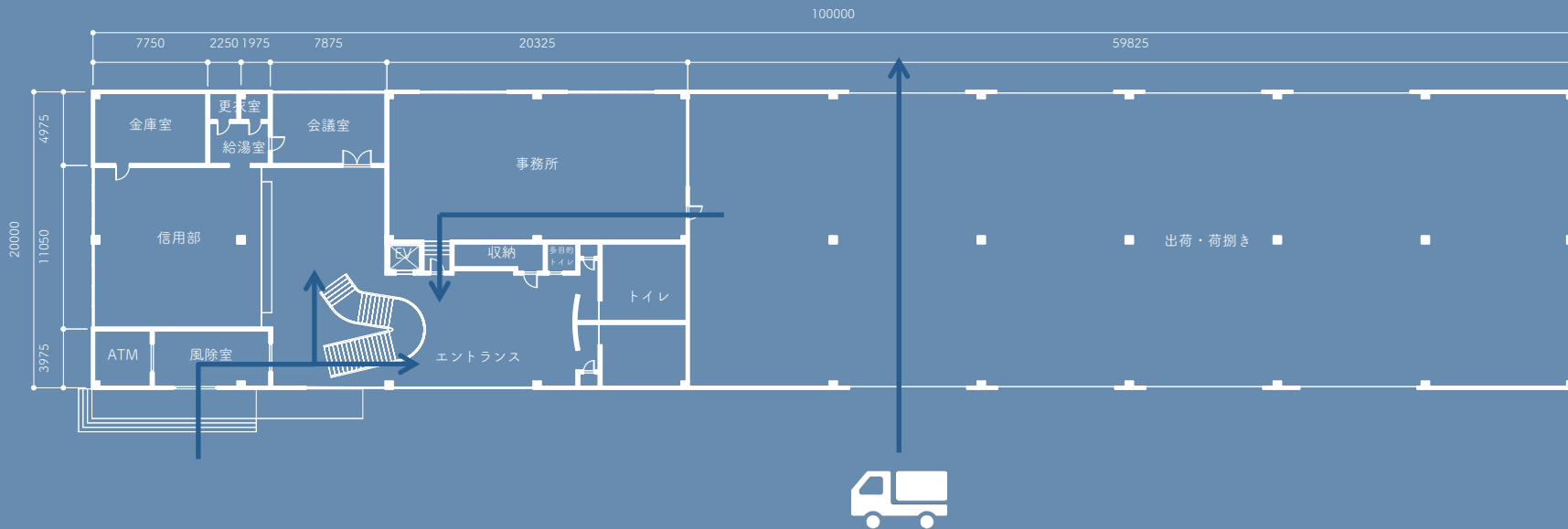
構造：鉄筋コンクリート造



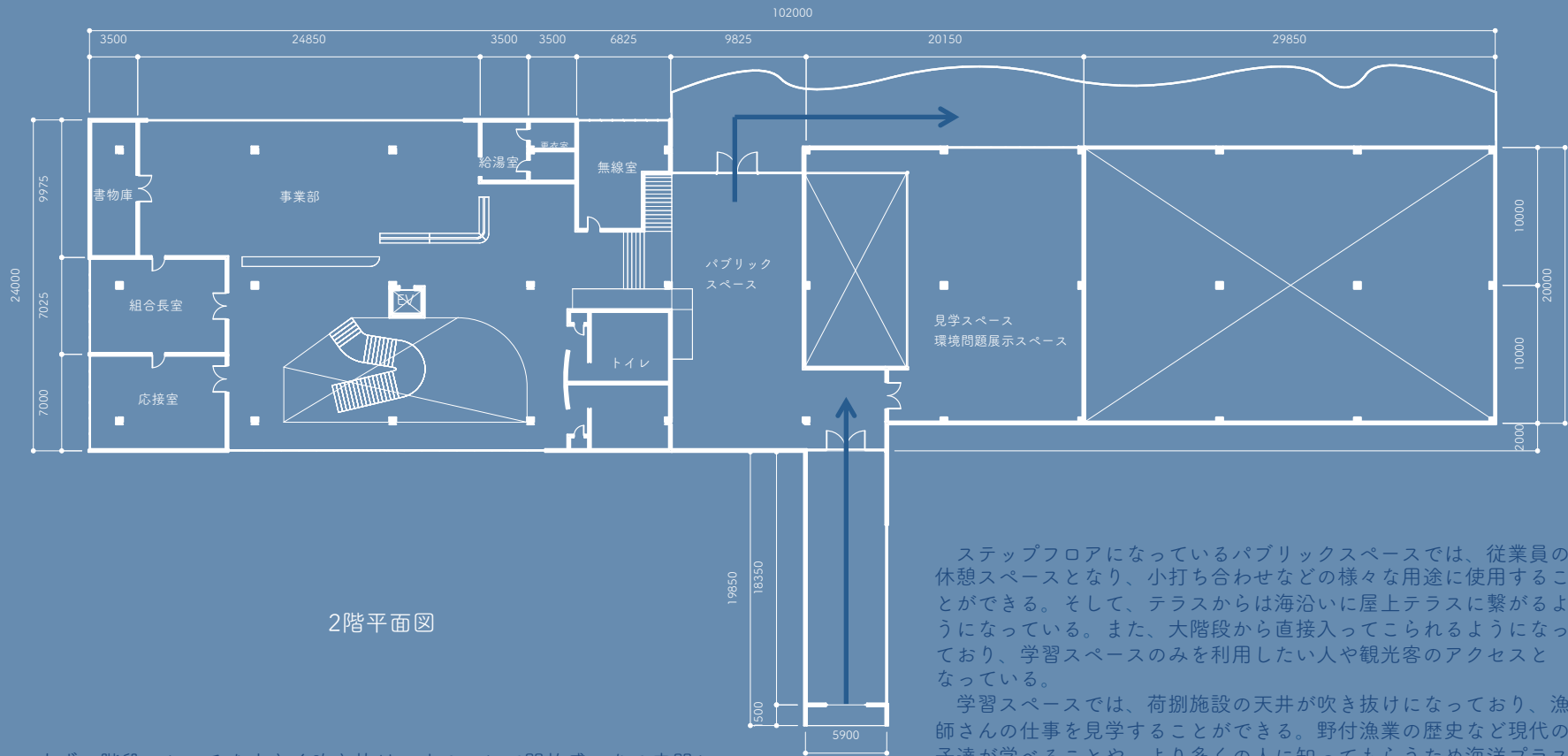
## 漁業協同組合

右側に水産物荷捌施設を配置し、現在の事務所は右端にあり独立しているようになっているが、事務所を組合事務所の建物の中に組み込むことでアクセスをよくした。

現在は信用部と事業部が2階に併設されて、窓口が同じため利用しにくいことが挙げられている。そこで、信用部だけを1階に設置した。信用部は漁業関係なく、ご年配の方が多く利用するため、1階に持つことで階の行き来をなくし、負担なく利用できるようになる。また、入口すぐに階段を設置することで2階へのアクセスをよくし、信用部とエントランスを隔てる役割を果たす。



1階平面図



まず、階段のところを大きく吹き抜けにすることで開放感のある空間となり、上下階の人の気配が感じられるようにした。事業部のカウンターを2段階にすることで、1つは通常窓口となり、もう一つは相談窓口として使い分けることのできるようにする。

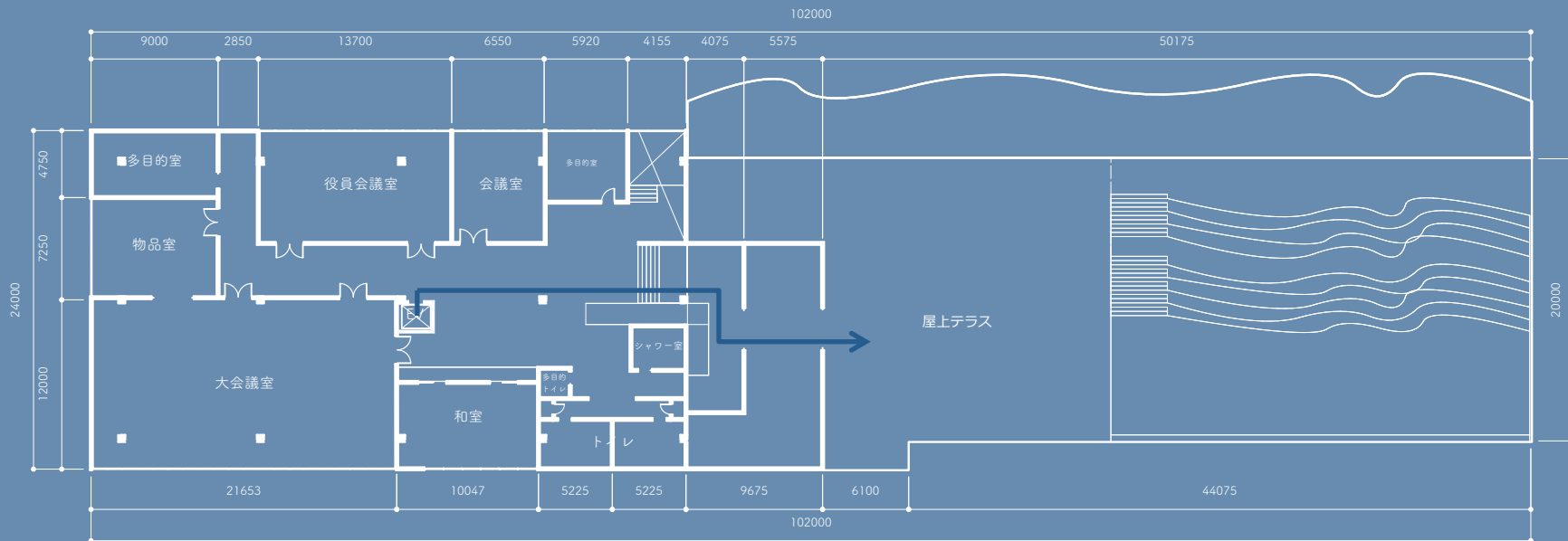
ステップフロアになっているパブリックスペースでは、従業員の休憩スペースとなり、小打ち合わせなどの様々な用途に使用することができる。そして、テラスからは海沿いに屋上テラスに繋がるようになっている。また、大階段から直接进入ってこられるようになっており、学習スペースのみを利用したい人や観光客のアクセスとなっている。

学習スペースでは、荷捌施設の天井が吹き抜けになっており、漁師さんの仕事を見学することができる。野付漁業の歴史など現代の子達が学べることや、より多くの人に知ってもらうため海洋プラスチックごみ問題を主に取り上げる。また、ワークショップを開催したり、小中学校の制作物を展示するなどをして、地域住民との交流の場を設ける。

3階は主に会議室を配置する

大階段を登ってくると辿り着く屋上テラスは、足腰が不自由な人でも利用できるように、1階のエレベーターから3階まで来て、スロープを使い外に出ることができる。

右側の階段ベンチは、波をモチーフに左右揃うことなく、一人で利用したい時などでも気兼ねなく時間を過ごすことができる。また、一番下の空間を広くしたことで青空ホールのような外でちょっとしたイベントなども行えることを想定する。



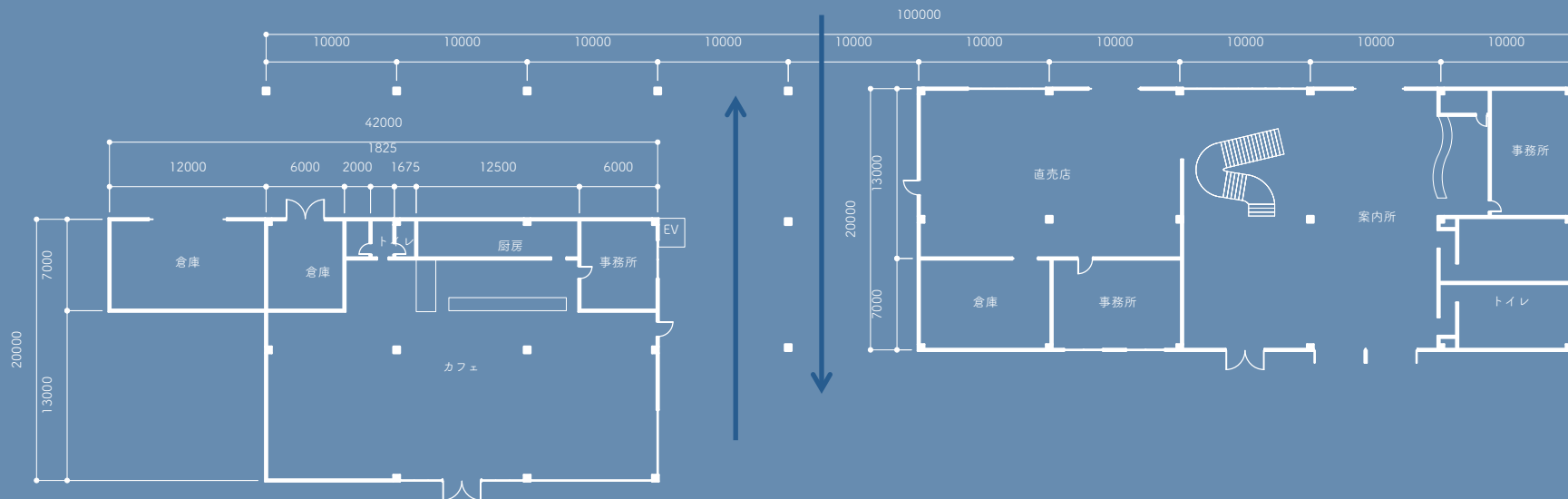
3階平面図

## 複合施設

よくご年配の方が近隣店の端の方でお話ししているのを見て、ゆっくりと座ってお話できるスペースがあればいいなと思ったため、1階の案内所のスペースを広く設け、ベンチや机・椅子を設置し、気兼ねなく集える場とした。

直売店を案内所の隣に設置することで、観光客が立ち寄りやすくなると考えた。夏などでは直売店の隣のピロティでBBQができるようすることで売上向上を推進する。また、このスペースはマルシェやマーケットなどの様々なイベントを催し、活気のある町づくりに貢献する。

カフェでは、地産地消を目的とした料理の提供を行い、地産地消の向上を担う。



1階平面図

2階には、多目的室を設け、塾や習い事様々な用途に活用できるようにしている。フリースペースでは、読書の時間や、下校後の学生が集まって勉強会などを開催できる空間となっている。

近年リモートワークなど、事務所を持たなくても仕事ができるようになってきた世の中で、UIターンを元に企業したい人などに向けて、貸しオフィスを取り入れる。貸しオフィスとしてじゃなくてもお店を開きたい人などにも活用できるスペースとなっている。

2階平面図

